

## 中国侵略戦争に突き進む石破倒せ

### 総選挙ぶち破り 11月集会 6,000人結集を



#### ・解散総選挙攻撃との正面勝負

新政権を発足させた自民党・石破茂は9日、解散・総選挙攻撃を仕掛けてきた。労働者人民の怒りが爆発する前に総選挙で「全権委任」されたというだけで、中国侵略戦争と改憲に突進しようというのだ。しかし、労働者人民はこの石破の狙いを見抜いており、石破政権は発足直後から危機的だ。解散総選挙＝拳国一致体制構築の大反動と真っ向から激突し、11.3 日比谷に6,000 人の大結集を勝ち取って、石破政権を直ちに打倒しよう。

#### ・石破政権＝戦争突撃内閣を直ちに打倒しよう

石破は小泉純一郎政権下で防衛庁長官となり、自衛隊イラク派兵を全力で推進し、当時から強硬に改憲や集団的自衛権行使容認を主張し、「アジア版 NATO」創設を持論としてきた人物だ。第2次安倍政権下で党幹事長となった石破は2013年11月、沖縄選出・出身の自民党国会議員5人を党本部に呼びつけて記者会見の場に並ばせ、新基地建設をめぐる「最低でも県外」の公約を撤回させて「辺野古」に転換させた（「平成の琉球処分」と呼ばれた）。今回の総裁選でも「辺野古移設は地域の安全保障と抑止力維持のために必要」と強調し、「在沖米軍基地を自衛隊との共同管理に」と主張した。安保・沖縄闘争への敵対を絶対に許すことはできない。

総裁選の投票前日には、米保守系シンクタンクであるハドソン研究所に論文を寄稿。日米安保条約の相互防衛条約への転換、グアムへの自衛隊駐留に加え核の共有や持ち込みを具体的に検討すべきだとし、それにより「日米が『対等なパートナー』となる……米国と肩を並べて自由主義陣営の共同防衛ができる」などと主張した。米帝の大没落を背景に日帝自身が戦争の主体へと転換し、日米安保同盟を中国侵略戦争に向けた核軍事同盟とすることを確認した4月の日米会談―共同声明路線をより強硬に突き進むという宣言だ。新内閣も、石破含めて4人の防衛相経験者が入るという異例の体制となっている。石破は戦争突撃内閣として新内閣を組織し、さらに野党を総屈服させて国会を大政翼賛会化させようとしているのだ。

#### ・日米の中国侵略戦争策動許すな

10月23日から11月1日にかけて、日本全土で日米共同統合演習「キーン・ソード25」が行われる。初めて中国を敵国として名指した2月の図上演習「キーン・エッジ24」を引き継ぐ実動演習だ。自衛隊約3万3千人、米軍約1万2千人が参加し、オーストラリア軍とカナダ軍も初参加する。9月25日には、南中国海での多国間訓練に参加するために移動していた海上自衛隊の護衛艦「さざなみ」が、自衛隊発足以来、初めて台湾海峡を通過した。これら自体が「訓練」と称する露骨な戦争行為の一環だ。

10月8日には、自民党最高顧問・麻生が、都内で開かれた式典で「私たちにとって台湾は近い国だ」と述べ、

台湾が正式名称として使用している「中華民国」の呼び名も使った。日中政府間の「一つの中国」原則を意図的に踏み破る、紛れもない挑発行為だ。また、8月に台湾を訪れ頼総統と面会、「台湾との連帯」を表明していた石破は、所信表明演説で中国の「東シナ海や南シナ海における力による一方的な現状変更の試み」（これ自体、米日の戦争策動を棚上げしたデマである）と並んで、深圳での日本人男児刺殺事件をあげつらい、「断じて看過しがたい」と非難した。真相究明すらなされていない事件を利用して中国への排外主義を激しく煽っているのだ。

排外主義を扇動し軍事行動を繰り返す米日帝こそが中国侵略戦争の元凶であり文字通りの戦争放火者だ。彼らが守ろうとしているのは台湾人民の生活や安全などではない。「台湾有事は日本有事」（安倍）『戦う覚悟』が必要（麻生）「日本は旧宗主国として台湾に対する責任を放棄してはならない」（与那国町長・糸数）などの発言に示されるように、かつてのアジア侵略の歴史と同様、日本の「国益」のため台湾を勢力圏化し、そのために中国との分断・切り離しを図っているに過ぎない。今こそ、中国人民・アジア人民と連帯し、日帝の中国侵略戦争を内乱に転化して闘うときだ。11.3日比谷に総結集し、戦争を止める労働者の国際連帯をさらに拡大しよう。

## パレスチナ 10.7 蜂起から 1 年 帝国主義打倒し世界革命へ

全学連副委員長 亀井陽慧さん（10.7 京大集会での発言要旨）

10.7 蜂起は、世界を変えました。もはや誰もパレスチナの虐殺に無関係・無関心ではいられなくなりました。去年にはパレスチナのことを知らなかった青年・学生が、このイスラエル・帝国主義による大虐殺に肚の底から怒り、全世界で一斉に、虐殺を直ちに止めろと行動に立ちあがりました。

この虐殺を本当に止める道は何か。対話とか国際法の遵守でないことははっきりしています。70年以上にわたり、イスラエルの暴虐の一切を容認してきた国際社会、国際法、そんなものが一体どうして信用できるのでしょうか。この虐殺を延々と支えている帝国主義による世界支配、これを根本から覆す、全ての帝国主義政府を労働者民衆の力で打倒すること、それ以外にありません。

パレスチナ人民の蜂起は、全帝国主義の打倒までやむことのない革命戦争です。このことを私たちは真正面から見据え、帝国主義とイスラエルによって虐殺されていった何十万、何百万人ものパレスチナ人民の無念を背負い、自国帝国主義を打倒する闘いに立ち上がることで、それが私たちに課せられた責務です。

これから始まろうとしている中国侵略戦争・世界戦争は人類を滅ぼす戦争です。絶対に止めなくてはならない。私たちの代で、帝国主義を終わらせ、パレスチナ解放を成し遂げようじゃないですか。国境越えた労働者民衆の団結で、帝国主義、そしてスターリン主義によって阻まれてきた世界革命への大道を今度こそ突き進みましょう。



### 11.3 全国労働者総決起集会へ！



11月3日(日)  
12時～日比谷  
野外音楽堂

↓集会特設HP



### 闘争スケジュール

学生は戦争反対・自国政府打倒のデモに立とう！

#### ・10.13 三里塚全国総決起集会

10月13日(日) 12時 成田市赤坂公園芝生広場

#### ・10.19 京都反戦デモ

10月19日(土) 13時 三条大橋西側河川敷

#### ・10.21 国際反戦デー 京大反戦集会

10月21日(月) 12時 京大吉田キャンパス(詳細未定)

#### ・10.21 国際反戦デー 梅田デモ

10月21日(月) 18時30分 豊崎西公園